

パナマ新聞

2016年 12月号

パナマ日本人学校
あさだ まさはる

Hola!



白山小学校のみなさんお元気ですか？もうすぐ児童会まつりですね。今年もみんなでたのしくもり上がるのでしょうね。じゅんぴがなぼってください！ 新潟はかなりさむくなったと思いますが、こちらはあつく、北の国からやってきたツバメがたくさんとびまわっています。今回は、パナマ日本人学校についてしょうかいします。



パナマ日本人学校は、2かいだての小さな校しゃです。グラウンドはしほふに見えますが、ただの草やぶです。43年ほどたっているのに、白山小と同じく？あちこちをしゅうりしながらつかっています。できたころ、まわりはのはらでしたが、今ではマンションにかこまれてしまいました。でも、イグアナやリスがいるんですよ！



全校の子どもたちは、男子2名・女子5名の7名です。上のしゃしんは、全校集会（おたんじょうび会）と理科のじゅぎょうのようすです。すくない人数ですが、きょうりょくしてたのしくべんきょうしています。



パナマには、いろいろなきけんがあるために、子どもはそとであそべません。（かわいそうですが、外あそびきんしです。）いえの外にでかけるときは、かならず大人といっしょです。だから、日本のようにあるいて通学もできません。どんなに学校の近くでも、かならずスクールバスで通学します。（あるいて2分でも、バス15分です！）バスには、けんじゅうをもったけいびいんさんがのり、あんぜんをまもっています



げんかんです。鉄格子（てつごうし）のとびらで、こどもたちがとう校するとかぎをかけます。げんかんは、けいびいんさんがまもっています。また、1かいは、すべてのまどに鉄格子（てつごうし）がついています
パナマは、はんざいがとてもおおく、暴動（ほうどう）の可能性もあり、ゆだんはできないのです。
※ 今年、朝、学校にきたら、「2台のスクールバスの部品がな——い！」ということもありました。

【パナマのクリスマス：まちは、クリスマスのふんいきになってきました!】



ホームセンターの上には、大きなトナカイがとうじょうしました。



パナマは、ねったいなので雪はふりません。また、ほとんどのパナマ人は雪を見たことがありません。そのため、雪に対するあこがれ?がとてもつよいとかんじます。
日本のように、クリスマスのイルミネーションやクリスマスのかざりがとうじょうしましたが、雪だるまやトナカイなど、雪にかんけいがあるものがおおくて、ちょっとびっくりしました。こちらは、冬でも気温 30℃くらいなので、ちょっとあわないかんじがします…。